



発行日/令和2年3月25日 発行者/網代和夫 編集/あきる野市町内会・自治会連合会 広報部会

親子けん玉交流会



事業部会長 田村 百蔵

連合会は、2月9日秋川体育館において「けん玉たち先生による けん玉にチャレンジ！ 親子けん玉交流会」を催したところ、多数の参加を得て盛況裏に終了したことを先ずはご報告いたします。

この催しは高齢化しつつある町内会・自治会に、若い人たちが積極的に参加できるように先ずは町内会・自治会の存在を知ってもらうことを目的に企画したのですが、お陰様を持ちまして申込期限の12月末までに約100組の応募があり、企画冥利に尽きる状況でした。結果的には73組の参加となりましたが、大変寒い体育館の中でも、歓声がこだまし、大人も子供も楽しいひと時を過ごせたかと思えます。

連合会の事業部は、町内会・自治会により多くの住民が参加し、活性化したコミュニティ



イが保たれるにどうしたらよいのか、事業を通じて支援していく、いわば町内会・自治会の後方支援としての役割を求められており、難しく考えると確かに難しい部署ですが、先ずは参加者自らが楽しむこと、その楽しみを他の参加者と共有することによって、楽しみが広がると考えています。町内会・自治会の加入率が克服すべき課題となっている状況下ではありますが、会員相互が楽しみ、会員が会員を増加させるような機能が町内会・自治会に必要なのではないのでしょうか。

余 瀝

現在、世界で解決しなければならぬ最も大きな課題の一つと考えられているのが、気候変動の抑制です。人類の生存と幸福のため避けて通れない喫緊の課題とされています。▼温暖化を主因とする大災害がグローバル

に頻発しています。想像を絶する自然の脅威が世界を震撼させています。日本もあきる野市も例外ではありません。解決は温室効果ガスを削減する以外にありません。しかし、指導層に危機感がありません。今期COPで日本は2回化石賞をもらいました。世界の若者は、グレタ・トゥーンベリさんの影響を受け、未来のために立ち上がりました。「フライデー・フォー・フューチャー」が日本を含め大規模な運動を続けています。金儲けよりも地球を守れと。地球環境を守るためにヨーロッパの先進国が自然エネルギーへの転換を急いでいます。また、そのことによって、新しいビジネスを起すことが出来、結果的に経済や雇用が伸びると。▼温室効果ガスを減らす運動は連合会にとっても大きな課題です。町内会・自治会の最も主要な任務としての災害から住民を守る根源となるものだからです。若者と連携して行動を起こすことも可能でしょう。また日々の生活の中で自分たちの世代だけでなく孫子の未来のためにできることをコツコツと継続する運動もあるでしょう。そのためには人類やすべての生きとし生けるものの生存のために行動を起こすことを決意する確固とした哲学が必要です。ともかくも、スタートする決意を固めるべき時です。人類の死活的課題を解決するために。

わたくしたちの活動 「迷い人搜索」研修



東秋留地区会長会
代表 伊井 晴美

東秋留会長会では、令和元年10月20日、秋川ふれあいセンターで表題の研修を実施いたしました。

このきっかけは、雨間町内会が高齢者の「迷い人」が発生した事件があり、町内会としてどう対処したらよいのか、今後高齢化の進行に伴って同様な事件が増加する可能性もあることから、雨間町内会の師会長と小川町内会の小川会長が中心となり本研修を企画いたしました。

研修内容は、高齢者はつらつセンター及び社会福祉協議会等の関係者と打ち合わせをし、次の進行計画といたしました。

- (1) 「事案報告」
師雨間町内会会長
- (2) 「迷い人搜索訓練の事例報告」
秋留台病院東部高齢者はつらつセンター
反町様
- (3) 「認知症と思われる方との接し方」
サンライズむつみ橋 福島様
- (4) 「迷い人搜索訓練のDVD視聴」
H30年フィルムコミッション制作

参加者は、東秋留町内会・自治会役員をはじめ、民生児童委員、ふれあい福祉委員、高齢者

はつらつセンター職員、社会福祉協議会職員、あきる野市職員等50名の参加をいただきました。

DVD視聴後の質疑応答では「迷い人が電話番号札を所持していて連絡が取れた等の事例があり、番号札やキーホルダーの普及を図ってほしい」、「市ホームページや広報でPRしているが、皆様からも周知のご協力を」等の意見もありました。

今後は迷い人搜索の仕組みづくりとして各種組織間の横の連携が必要であり、この点につきましては市のリードが必要と思われます。また、町内会・自治会にあつては、認知症サポーター研修の受講等を通じて認知症についての理解を広めるとともに、役員だけでなく一般会員を含めた「迷い人搜索」訓練を実施することが有用であると思われる研修内容でした。



令和二年 連合会新年会を開催

令和に入つて初めてとなる町内会・自治会連合会の新年会が1月10日、あきる野ルピア3階ルピアホールで開催された。

来賓として村木市長、天野市議会議長、私市教育長、倉田社会福祉協議会会長、大久保防災・安心地域委員会本部長等の方々のご出席を戴きました。市長は菅生町内会に所属し会計として活動しているとのことで、町内会・自治会の活動には大きな期待を寄せているとのことでした。



消防団出初式

1月12日に東京サマーランド駐車場であきる野市消防団の出初式が開催された。市長告辞、団長訓示、秋川消防署長挨拶後に車両分列行進が行われた。その後消防活動に對しての表彰が行われ、あきる野市消防団が東京消防庁消防総監表彰を受賞されるなど分団や個人表彰の授与がなされた。



見舞金募金総額 二百万円を超える

連合会は先の台風19号で被災されたあきる野市内の会員に見舞金を贈呈することを決定し、被災者支援実行委員会が立ち上がった。連合会に属する82団体の町内会・自治会に見舞金募金を呼びかけたところ、総額三百万円余の募金が集まった。

集まった見舞金は被災の程度に応じて一定額を均等に配分する。配分後の残額はあきる野市の災害支援寄付金として納付する。

尚、見舞金は各町内会・自治会を通じて被災者に贈呈される。連合会内での相互扶助は初めての試みとなる。

編集後記

今期の広報部会は、年4回の会報を発行することで取り組み、紙面は文字を大きくし、コラム欄を取り入れるなど観たくなるように努めた。

先月9日に連合会主催の「親子けん玉交流会」には多数の方が参加した。けん玉で親子の交流が図られ、町内会・自治会の意義を理解し加入促進になることを期待する。将来を担う子どもたちが、地域の活動に参加し、伝統文化を継承し住みよいまちづくりに努めるひととなることを望む。

次号からは新メンバーで会報を発行する。会報が会員の皆さまに更に愛読されることを願う。

広報部会 青木 次郎